

## 難局を乗り越え、命と暮らしを守る！

2021年度愛知県9月定例議会が9月17日から10月12日までの日程で開会されました。

度重なる緊急事態宣言等の発出や延長等により臨時議会も含め今年度10回目となる今議会では、一般会計総額986億余円の補正予算を始め、条例の一部改正など47議案を集中的に審議し可決成立させました。

今回の補正予算には9月に県が追加で確保した新型コロナウイルス感染症対策宿泊療養施設の確保予算や、医療従事者への支援金、また10月1日から10月17日までの愛知県独自の厳重警戒措置の発出に伴う協力金などのコロナ関連予算を始め、信号灯器のLED化や道路標識の整備費など県民の皆様の安心・安全のための地域整備の予算が含まれています。

予算以外の議案では、行政や事業者等が一体となって県産木材を始めとする木材利用が県内全域に広がることを目指した愛知県木材利用促進条例を制定、同時に地球温暖化対策の定義の規定等を改めるため、地球温暖化対策推進条例の一部改正等を行いました。「地方財政の充実・強化について」、「民間事業者の防災・減災対策の促進について」他4件の意見書を国に送付しました。また、昨年度の決算を審議する2つの特別委員会が設置され、今後集中的に昨年度の決算に係わる審議が開始されます。

今議会では、新政あいち県議団が提案した議会のデジタル化等に向けての議会改革の推進が同意され、議会運営の効率化の議論が超党派で開始されることになりました。

### 知事へ緊急要望を提出！

#### ■新型コロナウイルス感染症対策の充実・強化について

1. 急増する自宅療養者に対する診療体制の構築
2. 新型コロナウイルス感染症に関する医療と通常医療の両立
3. 中高生のワクチン接種の有無によるいじめ等の未然防止対策

#### ■カーボンニュートラルの実現について

カーボンニュートラルの実現による魅力あるまちづくりについて取り組む市町村に対して、積極的に支援するよう要望いたしました。

### 政策提言書を知事へ提出！

#### ■主な提言内容

- 1 新型コロナウイルス感染症対策の強化・推進
- 2 コロナ禍での長期化する雇用情勢の悪化に対する雇用の維持・創出
- 3 コロナ禍における中小企業・小規模事業者支援の推進
- 4 大規模自然災害に備えた社会資本整備の推進
- 5 交通事故防止対策の推進
- 6 ICT利活用加速とDX推進
- 7 地球温暖化防止戦略の推進



- 8 差別や偏見のない社会づくり
- 9 子どもが輝く未来の実現にむけて
- 10 教員の働き方改革と良好な教育環境の整備



森井元志 幹事長 (守山区、4期)

新政あいち県議団

代表質問から

(9月24日 本会議)

Q.1 安心できる県内医療提供体制の確保に向けて

非常に難しいハンドリングが求められるコロナ医療と通常医療の医療提供体制の確保をどのように進めていくのか

知事 新型コロナウイルスの新規感染者数の急増に伴い、コロナ感染症患者の最大限の受入れと、必要な人員を確保していただくため、コロナ患者受け入れ医療機関に対して医師が延期可能と判断した入院・手術の

一時延期を医療機関に依頼し、1722床+αのコロナ専用病床を確保しています。引き続き新型コロナウイルス感染症の医療提供と通常医療の両立にしっかりと取り組んでまいります。

Q.2 次世代を見据えた産業の振興に向けて

自動車産業が大変革期を迎えるなかスタートアップ中核支援拠点「STATION A」における今後の海外連携の取組をどのように進めていくのか

知事 今回運営事業者として契約したソフトバンク株式会社は「Global」視点で、実績を活かして、プログラムを企画・運営するとともに、多言語でコミュニケーションできる人材を配置し、同社の国内外のグループ企業、新たなフア

の創設など、本県が培ってきた海外連携経験と連携し、本県に次々とイノベーションが創出されるよう、着実に、スピード感を持って取り組んでまいります。

Q.3 アフターコロナに向けた人材づくりに向けて

本県のモノづくり産業が今後も持続的に発展していくために、デジタル人材の育成をどのように進めていくのか

知事 県立高等技術専門学校名古屋校に「組込みシステム科」を、岡崎校には来年度から「3Dモデリング科」を設置、2025年度からは「ロボットのシステム訓練科」を設置します。現在、企業からの要望に応じデジタル関連の訓練講座等を実施しており、今後も訓練カリキュラムの共同開発を進め、県庁内横断組織においても、

デジタル人材育成の具体的な施策を今年度内にとりまとめてまいります。

Q.4 安心子育てできる愛知に向けて

増加する共働き家庭等の子どもが安心・安全に過ごせる放課後児童クラブのさらなる充実、サービスの向上にどのように取り組んでいくのか

知事 県では、2015年度から放課後児童支援員の認定資格研修を、2017年度からは、5年以上の実務経験がある支援員に、発達障害児などへの支援や緊急時の対応など「キャリアアップ研修」を実施しています。また利用者サービスの向上を図るために、今年10月を目途に県独自のガイドラインを策定し、実施主体である市町村に周知を図るとともに、評価の実施を働きかけてまいります。

新政あいち県議団 一般質問から

質問の詳細は新政愛知県議団ホームページ http://shinsei-aichi.kengidan.com

脱炭素の変革は「公正な移行」で



高木ひろし議員 (瑞穂区、5期)は、愛知県におけるカーボンニュートラル実現に向けた課題として、①名古屋港における取組み②水素・アンモニアの利用③脱炭素変革に伴う「公正な移行」について質問、労働者協同組合法についても初めて取り上げた。

日本最大の産業界である愛知県は、CO2排出量においても最大で、

県と市町村の連携による自宅療養者の生活支援を



安藤としき議員 (清須市、北名古屋、市及び西春日井、4期)は、新型コロナウイルス感染症の第5波では、本県でも新規陽性者、自宅療養者数とも爆発的に急増し、外出ができない自宅療養者への生活支援が課題となっていた。

感染法では、自宅療養者の生活支援に県は市町村と連携するよう規定されており、自宅療養者の個人情報

発達障害児支援の充実について



黒田太郎議員(千種区、2期)は、発達障害は生まれながらの特性である(厚労省)が、この特性を生かして社会貢献をする方もいれば、いじめや周囲の不理解などにより、ひきこもる方も

もいる。これらを分けるのは、①早期発見と適切な支援、②幼少期から就労までの個別支援計画の引き継ぎ、③教育と福祉の連携にある。これらにつき

コロナ禍における商店街の振興について



渡辺靖議員(西尾市、2期)は、コロナ禍における商店街の振興策について質問をした。

大学生や高校生と連携し、その店独自の商品を生み出そうとする取組など、新たな試みに挑戦することが、地域の経済に活力をもたらすし、地域のコミュニティを活性化させることに繋がります。

カーボンニュートラル(脱炭素)社会に向けた自動車環境対策



桜井秀樹議員(豊田市、1期)は、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、CO2の18%を排出する運輸部門(自動車)で現在進めている「あいち自動車ゼロエミッション化加

速プラン」に地球温暖化対策の推進に関する法改正や自動車製造から廃棄に至るまでのCO2排出の削減を目指したライフサイクルアセスメントの対応への取組を質した。

## ◆観光・地域振興 議連

コロナ禍における  
厳しい観光業界の実  
態把握に向け

1. 県・観光コンベン  
ション局からの  
観光動向聴き取り
2. 中部国際空港の  
現地確認も含めた利用実態調査
3. 名鉄観光サービス様との意見交換  
以上の調査を実施しました。



## ◆多文化共生 議連

厚労省で外国人労働者施策に取り組んできた  
佐々木菜々子副知事をお迎えし、外国人技能実  
習制度と特定技能

制度を中心に「多文  
化共生施策にかか  
る現状と課題」につ  
いて意見交換を  
含めた勉強会  
を実施し  
ました。



## ◆健康と食 議連

愛知県立大学で、清水宣明教授(感染制御学・  
危機管理学)から「命を守る行動」について講演  
いただきました。コロナウイルスは軽く、長く遠く  
まで空中を漂うので、空気道を作り、換気するこ  
とが特に大切であることなどを学びました。



## ◆中小企業振興 議連

10月4日「国および愛  
知県の政策に関する中  
小企業家からの要望と  
提言」と題して愛知中  
小企業家同友会様による学習会を開催しました。

中小企業の現在の外部環境、最近の中小企業  
の景況感(2021年8月景況調査報告)につい  
てと2022年度の国及び愛知県の政策に  
関する中小企業からの要望と提案の  
説明をいただきました。



## ◆介護 議連

日本介護クラフ  
トユニオン針谷知  
男総支部長をお迎  
えして

1. NCUUの活動  
内容について
2. 愛知県の介護  
現場を取り巻く環境について
3. 介護現場からの要望  
以上をご講義いただきました。



## ◆私学振興・子育て支援 議連

令和3年度愛知県私学助成予算に関する要望  
書を基に、私教連として年収720万円以上の世帯

の負担軽減を求める  
旨説明がありました。  
また、今後の公立高  
校改革につき、私学と  
して公私連携を  
強く求める旨  
説明いただき  
ました。



## ◆子ども・若者 議連

国府台病院子どものこころ総合診療センター長  
宇佐美政英先生によるオンライン講演会を開催。  
若者の不登校、ひきこもり等の課題に対し、発達

障害や子どものこ  
ころのケアを交え  
た児童精神科医  
の視点で説明  
いただき  
ました。



新政あいち県議団